

宍道湖流入・流出水調査月報

(平成11年11月期)

水質概要

11月の水温は、表1に示すとおり平年値(上層13.1、中層13.2、下層13.6)と比較すると上旬から中旬にかけては若干高い値を示し、下旬ではほぼ平年並であった。図1に示すように、11月下旬では上旬に比べ、4程度低下しており、11月25日以降急激な低下が見られた。11月においては高塩分水の流入時に1~4の水温の上昇が見られた。特に11月25日~26日にかけての25psu以上の高塩分水の流入時には約4程の上昇であった。

11月の塩分は、表1に示すとおり平年値(上層4.4psu、中層6.1psu、下層8.6psu)と比較すると、上層・中層・下層ともに平年並の値を示していた。11月においては15psu以上の高塩分水の流入は11回観測された。

11月は、気圧低下と高塩分水の流入に顕著な関係が見られた。(11月1日、8日、12日、15日、25日の5日間が顕著であった)(図2参照)。

11月の溶存酸素濃度は、表1に示すとおり上層・中層・下層ともに5.9~7.1mg/lと比較的高い値を示していた(平均値:上層6.4、中層:6.6、下層:6.9mg/l)。

図1に示すように、中旬においては中層・下層よりも上層の溶存酸素濃度が低い値を示していた。また、15psu以上の高塩分水流入時に溶存酸素濃度の低下が見られるが夏期と比較すると小さかった。

表1 11月期の水質概要

		水温 ()	塩分 (PSU)	溶存酸素 濃度 (mg/l)
上旬	上層	16.3	6.5	6.3
	中層	16.5	5.9	6.6
	下層	16.5	7.9	6.8
中旬	上層	14.5	6.5	5.9
	中層	14.8	5.2	6.6
	下層	15	7.3	7.1
下旬	上層	12.7	7.5	7.1
	中層	13.1	9.9	6.5
	下層	13.2	9.8	6.8
月間平均 (11月)	上層	14.5	6.8	6.4
	中層	14.9	6.8	6.6
	下層	14.9	8.3	6.9

(水温・塩分平均値は、島根大学 宍道湖・中海水質月報、1994年3月より引用)

(表の中の数字は、平均値を示す)

水質

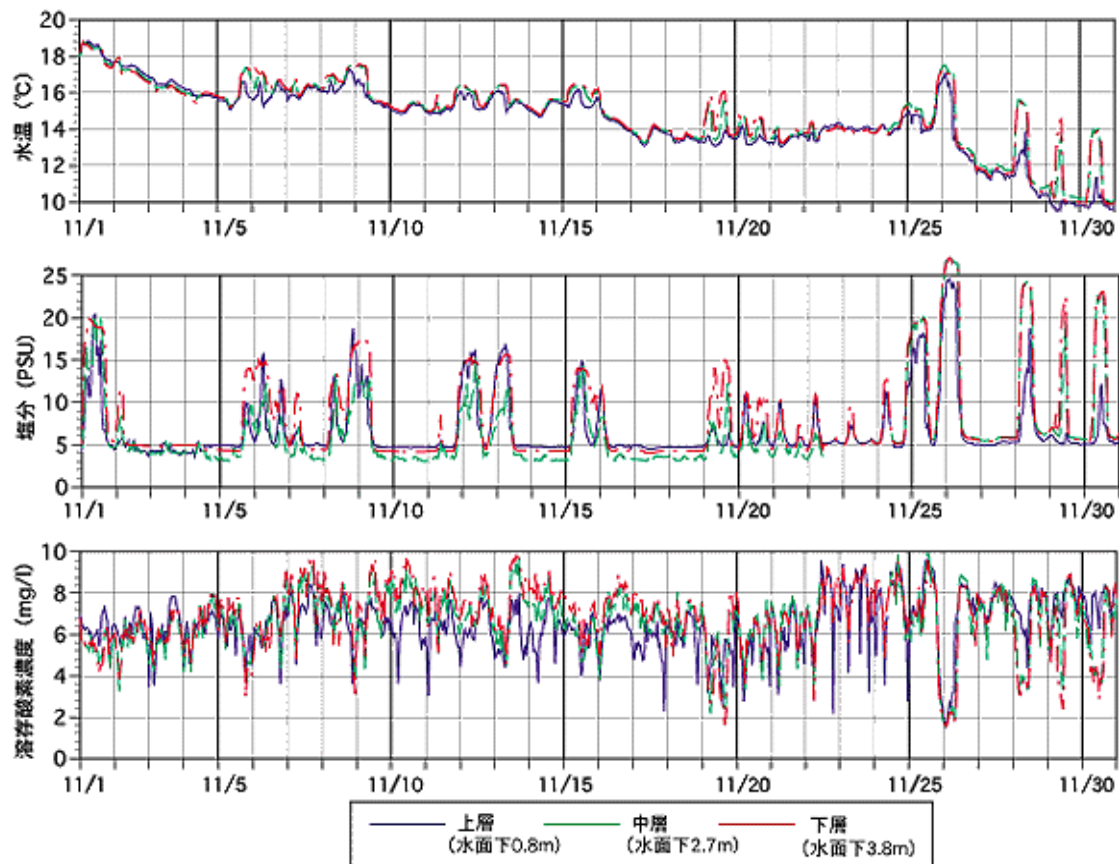


図1 水温・塩分・溶存酸素濃度の時系列変化

気象概況

11月は、表2に示すとおり、平均気温11.9（平年値11.0）であり、平年並であった。

図2に示すように、11月の気圧変動は、11月1日、8日、12日、15日、25日に気圧の低下が見られた。

平均気圧1015 hPaは、平年値（平年値1020 hPa）と比較して若干低かった。

表2に示すとおり、11月の日射量は、0.05 MJ/m²以下がほとんどであり、10月期と比較して小さかった。（10月平均値：0.063 MJ/m²）

11月の風向・風速は、平均風速2.2 m/sec（平年値2.9 m/sec, 西風）であり、ほぼ平年並であった。

表2 11月期の気象概要

	気温 ($^{\circ}$)	気圧 (hPa)	風速 (m/sec)	風向	日射量 (MJ/m 2)
上旬	12.9	1015	1.8	南	0.04
中旬	12.2	1016	2	南	0.038
下旬	10.6	1016	2.9	南西	0.034
月間平均 (11月)	11.9	1015	2.2	南南西	0.037

(平年値は、平成11年気象の暦(山陰版)(財)日本気象協会中国センターより引用)
(表中の数字は、平均値を示す)

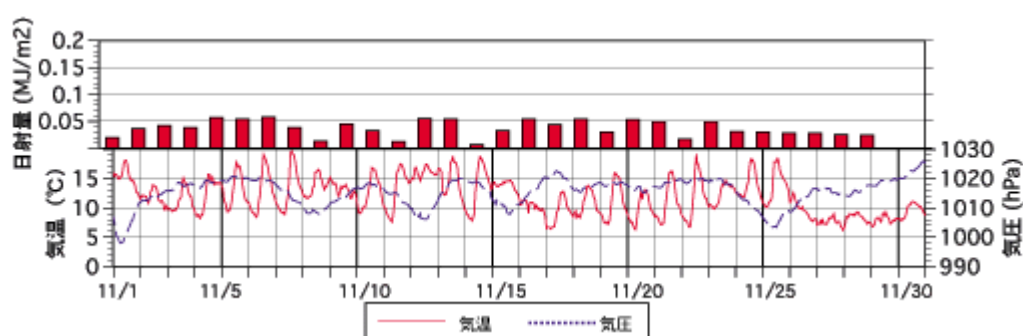


図2 気温・気圧・日射量の時系列変化

流況

11月の平均東方流速は、上層 24.8 cm/sec、中層 17.3 cm/sec、下層 14.6 cm/secであった。また、図3に示すように、11月の東方流速は、11月1日、8日、12日、15日、25日の気圧低下時に中海から宍道湖へ向かう流れが卓越していた。1020 hPa前後の高気圧時には、宍道湖から中海に向かう流れが卓越していた。

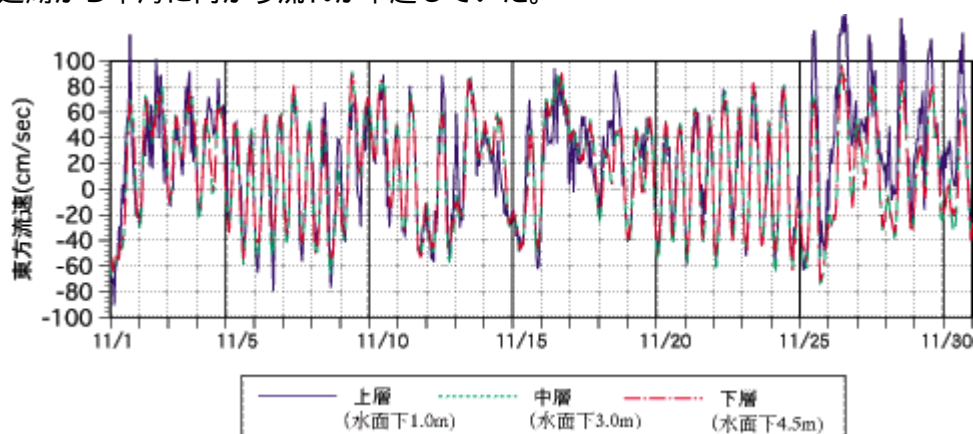


図3 東方流速の時系列変化